

## 投資事業評価調書（継続：再々評価）

部課室名	河川整備課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	河川整備課長 佐々木良作 (都市河川係長 糟谷昌俊)	内線	4408 (4417)
------	-------	---------------------	-------------------------------	----	----------------

事業種目	河川	事業採択年度	S43		現計画	再評価時点
事業名	高潮対策事業 (二) 夢前川水系水尾川	着工年度	S43	総事業費	119億円	119億円
		再評価年度	H10	内用地補償費	26億円	26億円
事業区間	姫路市飾磨区英賀～構			完成予定年度	H20	-
所在地	姫路市			進捗率 (内用補進捗率)	69%(81%)	64%(80%)
事業の目的				事業内容		
<p>播磨灘沿岸では、昭和39年9月台風20号、昭和40年9月台風23号で高潮による浸水被害に見舞われ、当該河川においては、最近では平成2年9月台風(浸水面積860ha、浸水家屋7,900戸)で大規模な浸水被害に見舞われている。</p> <p>このため、当該地域の浸水被害を防止するため、高潮被害を防御するとともに、洪水に対する治水安全度1/100を目標に改修し、地域住民の安全・安心な生活環境を確保するものである。</p>				計画流量	Q = 240m <sup>3</sup> /s (治水安全度1/100：夢前川合流点)	
				実施内容	L = 3,160m W = 43.2m ~ 16.7m 築堤、掘削、護岸、鉄道橋1橋、 道路橋18橋、井堰1基等	
進捗状況	<p>昭和43年度に着手し、これまでにほぼ築堤、護岸、橋梁改築を完成させた。再評価時点(H10)からH15では、今中橋上流の低水護岸、横断埋設下水道移設を完了するところであり、今後も残る低水護岸、河床掘削を行い、平成20年度に事業を完了させる予定である。</p> <p>また、河川整備計画を現在検討作業中である。</p>					
評価視点	評価結果の説明					
(1)必要性	・ 姫路市南部市街地、学校、病院等を浸水被害から守るため、護岸、掘削、横断構造物の改築等の河川改修工事を実施しており、残区間の治水安全度を早期に向上させるため、継続的な整備を実施する必要がある。					
(2)有効性・効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ B / C = 1 1 . 6</li> <li>・ 下水道管理者との調整をほぼ完了しており、残工事の円滑な執行が可能である。</li> </ul>					
(3)環境適合性	・ 階段護岸を整備し親水性の向上を図っている。					
(4)優先性	・ 築堤、護岸等の構造物はほぼ完成し、高潮に対する安全性が向上しているものの、残事業として河床掘削があり、姫路市南部市街地を浸水被害から防御する当該事業の優先性は高く、また今後5年以内に事業完了させることが可能である。					
再々評価の結 果	事業継続	左の理由	上記理由により、事業継続が妥当である。			